2018年10月18日

報道関係各位

東京国際キルトフェスティバル実行委員会

『第18回東京国際キルトフェスティバル－布と針と糸の祭典－』

2019年1月24日（木）～30日（水）【7日間】

2019年1月24日（木）～30日（水）の7日間、東京ドームにおいて**『第18回東京国際キルトフェスティバル－布と針と糸の祭典－』**を開催します。本フェスティバルは、キルトを愛する人々が集い、キルトの魅力を伝える世界でも最大規模のキルトの祭典です。

今回の特別企画、1つ目は、**「印象派に恋して～キルトとアートの素敵な出会い～」**です。19世紀後半、印象派はまばゆいばかりの光と色彩で多くの人々の心をとらえてきました。日本を代表するキルト作家の鷲沢玲子さん、キャシー中島さん、上田葉子さん、阪本あかねさんの4名が「印象派の世界」をキルトで演出します。2つ目は、**「南フランス・プロヴァンスの服飾魔法～アルルの女～」**です。「アルルの女」でも知られるプロヴァンス地方。アルルの服飾研究家マガリ・パスカル氏の貴重な民族衣装のアンティーク・コレクションが**日本で初めて公開**されます。その他、日本最大級のキルトコンテスト『日本キルト大賞』では、国内外より応募のあった作品の中から入選・入賞作品約290点を展示します。

鷲沢玲子 作

開 催 概 要

■名　　称：第18回東京国際キルトフェスティバル－布と針と糸の祭典－

［主　　催］東京国際キルトフェスティバル実行委員会

（NHK・読売新聞社・東京国際キルトフェスティバル組織委員会）

［後　　援］外務省、経済産業省、東京都、アメリカ合衆国大使館、NHK出版、NHK文化センター

［企 画 運 営］NHKエデュケーショナル、NHKアート、㈱東京ドーム

■期　　間：2019年1月24日（木）～30日（水）［7日間］

9：30～18：00（入場は閉場の30分前まで）

※初日は11：00開場、最終日は17：30閉場

■会　　場：東京ドーム （東京都文京区後楽1－3－61）

〔交通アクセス〕JR中央線・総武線、都営三田線　水道橋駅　徒歩3分

東京メトロ丸ノ内線、南北線　後楽園駅　徒歩3分、都営大江戸線　春日駅　徒歩5分

■公式サイト：https://www.tokyo-dome.co.jp/quilt/

■入 場 料 金：前売券　1,900円／当日券　2,100円　※小学生以下は無料。但し大人の付き添いが必要

■前売券発売：2018年10月18日（木）より

■チケット販売：セブンチケット、チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット、JTBレジャーチケット、CNプレイガイド、チケットポート、楽天チケット、Confetti、Tチケット、PassMe！、funity、Yahoo！チケット、ファミリーマート、ミニストップ、東京ドームシティ総合案内所、公式ホームページ　他

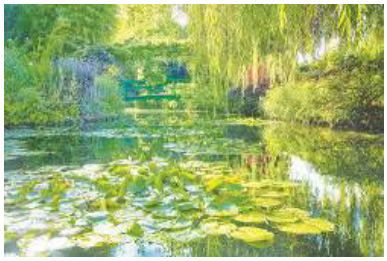
■総 展 示 数：約1,800点

展 示 内 容

◆特別企画 「印象派に恋して～キルトとアートの素敵な出会い～」

モネ、ルノワール、ゴッホ、ゴーギャンなど、19世紀後半、印象派はまばゆいばかりの光と色彩で、多くの人々の心をとらえてきました。今回の特別企画では、第一線のキルト作家4名が、それぞれ愛する画家たちの世界をキルトで表現します。

鷲沢玲子さんは、花々彩るモネの世界＝モネが終生愛した「ジヴェルニーの庭」をモネ財団の正式な協力を得て、布世界の中に“モネの夢”を実現します。キャシー中島さんは、ゴーギャンが愛した南洋（タヒチ）の楽園への旅、上田葉子さんは、ルノワールの美しい少女の世界へ遊び、阪本あかねさんは、ゴッホの夢を糸で紡ぎます。個性溢れた、それぞれのキルトワールドが時空を超えて、アートな旅へ誘います。



ジヴェルニーの庭

©Fondation Claude Monet, Giverny / All rights reserved

鷲沢 玲子

キャシー 中島

上田 葉子

阪本 あかね

イレーヌ・カーン・ダンヴェール嬢（可愛いイレーヌ）

©FoundationE.G.BührleCollection, Zurich(Switzerland) Photo:SIK-ISEA.Zurich(J.-P. Kuhn)

◆特別企画 「南フランス・プロヴァンスの服飾魔法～アルルの女～」

ゴッホやゴーギャンが魅せられ、「アルルの女」でも知られるプロヴァンス地方。ブティ（キルトを白一色で表現）や独特の刺しゅう文化を数世紀に渡って守ってきました。アルルの服飾研究家マガリ・パスカル氏の蒐集してきた貴重なアンティーク・コレクションが日本で初めて公開されます。

また、会期中には、マガリ氏の娘で元「アルルの女王」＝オディール・パスカルさんによる、当時の洋服を着用してのギャラリートークも行なわれます。

◆絵本きるとスペシャル「NHK Eテレのなかまたち」

2019年はEテレ（教育テレビ）が放送を開始して60年。「おかあさんといっしょ」や「できるかな」のゴン太くん、「いないいないばあっ！」のワンワンなど、みんなが遊び、一緒に育ってきた仲間がキルトになって大集合！20名のキルト作家が懐かしい想い出を表現します。

ゴン太くん

©NEP

にこにこ、ぷん

©スタジオじゃぴぽ／NEP

ワンワン

©NHK・NED

片野しのぶ 作

がんこちゃん

©末吉暁子・武田美穂／NEP

◆世界の人気キルター3人がやってくる！

世界のキルトシーンで今、もっとも旬なアーティストたちがフェスティバルへやって来ます。ご本人達によるイベントも開催します。

☆ダイ・フォード （オーストラリア）
アンティークを思わせる、懐かしくも華麗なキルトで世界中にファンを持ちます。

☆セシール・フランコニィー （フランス）
温かみのある作風で、「パリ 針の祭典」でも大人気の刺しゅうアーティスト。

☆トーン・フィンナンジャー （ノルウェー）
ファンシーな北欧ファブリックの世界が観る人に幸せを届けてくれます。人気の北欧デザイナーが日本初来日。

◆小関鈴子のモードな世界 Suzuko’s all works

多くのキルターを魅了する鮮やかな色使い。遊び心いっぱいのパッチワーク。幸せな気分にさせてくれるエスプリあふれたデザイン。大人気の作家・小関鈴子さんの新作に加え、これまでの代表作から、彼女の愛するツールまでを展示します。また、その制作プロセスを映像化。創作の秘密を公開します。

◆アーミッシュキルトと旅して

日本を代表するキルト作家・黒羽志寿子さんは、藍染めや更紗の古ぎれを使って独自の世界を築き上げてきました。その原点のひとつはアメリカで出会ったアーミッシュキルトにあります。黒羽さんは、それが信仰に基づいた生活の中から生まれ、簡潔で無駄のないパターンが普通に使われている事に魅了されてきました。

今回、黒羽さんは時を経て、そのアーミッシュキルトの魅力と改めて向き合い、新しいキルトを産み出します。

◆新作キルトの競演

日本の第一線で活躍するキルト作家約60名が、新作を発表します。

中原令子 作

◆ステージショー

1月25日（金） 西村由紀江 ピアノ&トークショー

1月26日（土）、27日（日） キャシー中島 ハワイアン・タヒチアン・ダンスショー

◆コンテスト 「日本キルト大賞」

プロ・アマ問わず国内外から幅広い層のキルターの応募作品が集まる「日本キルト大賞」。今年は新たに＜ユース部門＞が新設され、7つの部門で行われます。（ユース部門は、16歳～19歳を対象とします。）
また、各賞にも＜ミシンメイキング賞＞・＜ハートウォーム賞＞が新設されます。

応募総数1,246点（海外71点）の中から選ばれた入選・入賞作品290点近くが展示されます。（入選・入賞者は本フェスティバル初日に発表します。）

●部　門　①トラディショナル　②創作　③和　④額絵キルト　⑤バッグ　⑥**ユース**　⑦ジュニア

●各　賞　日本キルト大賞、準日本キルト大賞、ハンドメイキング賞、**ミシンメイキング賞**
部門賞（各部門1位～3位）、審査員賞、**ハートウォーム賞**、企業賞、奨励賞

◆パートナーシップキルト＆斉藤謠子の「ハウス」へようこそ

2019年のテーマは人気のパターン「ハウス」。レイアウトされたキルトは例年通り、チャリティを兼ねて会場に展示します。また、監修の斉藤謠子さんによる「ハウス」をモチーフにした作品の数々が会場を彩ります。

展示した作品は希望者にチャリティー抽選券（500円）を発行し、抽選を行います。純益はNHK厚生文化事業団を通じて福祉活動に役立たせていただきます。

斉藤謠子

「ハウス」 斉藤謠子 作

パートナーシップキルト

◆日本最大級のキルトマーケット

キルトに関するものなら何でも揃う、日本最大級のキルトマーケットです。約200店が出店します。

お客様からのお問い合わせ先
東京ドームシティわくわくダイヤル TEL. 03－5800－9999